

アサザプロジェクトに関連する書籍紹介

NPO法人アサザ基金

2002年以前～2006年に刊行された書籍

| | | |
|--|--|--|
| <p>THE BIG ISSUE 日本版 第64号</p>  <p>定価：300円 発行：ビッグイシュー日本 小さく無力な市民が切り拓く壮大な世界と言葉たち</p> | <p>農業と経済 2006.11臨時増刊号</p>  <p>定価：1400円+税 出版：昭和堂</p> <p>III 7節 霞ヶ浦アサザプロジェクトと農業 生物多様性の保全に必要な「文脈づくり」と「動的なネットワーク」</p> | <p>地域と環境が蘇る水田再生</p>  <p>定価：1785円+税 出版：家の光協会</p> <p>第2章 水田再生の現場から 4.企業が参画する水田再生 谷津田にトキが舞う日を夢見て NEC田んぼ物語withアサザ基金</p> |
| <p>農村文化運動 NO.182</p>  <p>定価：600円+税 出版：農文協</p> <p>II. ESD (持続可能な開発のための教育)への多様な視点からのアプローチ 五. ESDの視点から見た学校教育変革の可能性 茨城県牛久市での「参加型学習」事例を通して</p> | <p>森で学ぶ活動プログラム集3 中学校の総合的な学習</p>  <p>定価：2100円+税 編：全国林業改良普及協会</p> <p>年間計画モデル編 茨城県牛久市教育委員会との取り組み「学校ビオトープから始まるまちづくり」が紹介されています。</p> | <p>生態系へのまなざし</p>  <p>定価：2940円+税 出版：NHK出版 著：鷺谷いづみ 武内和彦 西田睦</p> <p>第8部 再生事業から見た遺伝子・個体群・生態</p> |
| <p>元氣なNPOの育て方</p>  <p>定価：714円+税 出版：NHK出版 著：戸田智弘</p> <p>各地で奮闘する13の先進事例から学ぶ成功への戦略</p> | <p>里山保全の法制度・政策 循環型の社会システムをめざして</p>  <p>定価：5600円+税 出版：創森社 編著：関東弁護士会連合会</p> <p>第3章 里山保全に関する自治体・NPO等の取り組み～関弁連管内を中心に～</p> | <p>現代農業 2005年8月号増刊 若者はなぜ、農村村に向かうのか</p>  <p>定価：900円+税 出版：農村漁村文化協会</p> <p>戦後60年 農山村の暮らしに学び、仕事をつくる若者たち</p> |
| <p>絶望に効く薬 ONE ON ONE VOL.7</p>  <p>定価：619円+税 出版：小学館 作・画：山田玲司</p> <p>第65夜 週刊ヤングサンデー連載 飯島博 (NPOアサザ基金代表理事)</p> | <p>新版 環境とつきあう50話</p>  <p>定価：780円+税 著：森住 明弘 出版：岩波ジュニア新書</p> <p>V よりよい環境をつくる活動 アサザプロジェクトの取り組みが紹介されています。</p> | <p>環境学がわかる。</p>  <p>定価：1300円+税 出版：朝日新聞社</p> <p>市民型公共事業アサザプロジェクトの挑戦と題して代表理事飯島が執筆</p> |
| <p>環境再生と日本経済 —市民・企業・自治体の挑戦—</p>  <p>定価：700円+税 出版：岩波新書 著：三橋規宏</p> <p>環境問題が深刻化する中、環境への負荷が少ない資源循環型社会を目指す動きが活性化。アサザプロジェクトを始め、自然の復元や地域の活性化、新しいビジネスモデルを紹介。</p> | <p>地球環境読本II 環境再生・共生を考えるための31のヒント</p>  <p>定価：1800円+税 編：加藤尚武 出版：丸善</p> <p>第I部 環境再生 第2話 湖と森と人を結ぶ霞ヶ浦アサザプロジェクト</p> | <p>自然再生 持続可能な生態系のために</p>  <p>定価：756円+税 著：鷺谷いづみ 出版：中央公論新社</p> <p>第五章 豊原の瑞穂の国の昔と今 第七章 積極的共生型戦略の時代へ</p> |
| <p>平成16年版 国民生活白書</p>  <p>定価：不明 発行：内閣府</p> <p>第1章 地域で起こっている注目される活動事例 環境を守る市民による公共事業 第2章 地域における活動の意義 第1節 事例にみられる地域の活動の特徴と活動がもたらすもの 2. 理念に共感する「個」の結びつきによる開放的で水平的な体制</p> | <p>自治体改革9 住民・コミュニティとの協働</p>  <p>定価：3000円+税 編著：西尾勝 出版：朝倉書店</p> <p>第5章 協働 まちづくりの実践事例・構想第2節 社会システムの再構築による環境保全～市民型公共事業アサザプロジェクトの展開～</p> | |
| <p>生態学からみた野生生物の保護と法律</p>  <p>定価：3800円+税 編：日本自然保護協会 出版：講談社サイエンティフィック</p> <p>2章 絶滅のおそれのある種の保護アサザプロジェクト</p> | <p>エコテクノロジーによる河川・湖沼の水質浄化～持続的な水環境の保全と再生～</p>  <p>定価：8500円+税 編著：鳥谷幸宏 細見正明 中村圭吾 出版：ソフトサイエンス社</p> <p>市民参加と水質保全・環境復元</p> | <p>市民型公共事業 霞ヶ浦アサザプロジェクト</p>  <p>定価：400円 著：飯島博 出版：淡海文化振興財団</p> |
| <p>ニッポンの手仕事</p>  <p>定価：1800円+税 編著：井上雅義 出版：日経BP社</p> <p>第一章 第六話 粗朶 岸辺を復活させる伝統土木</p> | <p>21世紀は江戸時代開府400年 まち・むら・自然の再統合</p>  <p>出版：農村漁村文化協会</p> <p>人と人、人と自然、21世紀への再統合 普請・御普請・人格をもつ技術 技術と思想を「農書」に学んだ市民と子どもの公共事業 霞ヶ浦「アサザプロジェクト」の百年の大計</p> | <p>自然再生事業 生物多様性の回復を目指して</p>  <p>定価：2800円+税 出版：築地書館 編：鷺谷いづみ 草刈秀紀</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アサザプロジェクトのデザインと実践 ・自然再生事業を支える科学 ・土壌シードバンクを自然再生事業に活かす ・自然再生事業と学校ビオトープ |
| <p>水をめぐる人と自然 日本と世界の現場から</p>  <p>編：嘉田由紀子 出版：有斐閣選書</p> <p>第5章 飯島博 アサザプロジェクトの挑戦 湖が社会を変える</p> | <p>環境ホルモン 文明・社会・生命 VOL.3 2003-4</p>  <p>出版：藤原書店</p> <p>社会システムを野生動物が評価する 霞ヶ浦アサザプロジェクトの取り組み</p> | <p>21世紀子ども百科 地球環境館</p>  <p>定価：4400円+税 監修：和田武 崎田裕子 出版：小学館</p> <p>第II章 森・川・海とわたしたちの暮らし 霞ヶ浦の自然を再生しよう</p> |
| <p>よみがえれ アサザ咲く水辺 霞ヶ浦からの挑戦</p>  <p>定価：3800円+税 出版：文一総合出版</p> <p>98年に茨城県潮来町で行われた応用生態工学研究会の現地セミナーと公開講座の内容がまとまっています。</p> | <p>学校ボランティア活動・奉仕活動の本(1) すみよい環境づくり</p>  <p>定価：2700円+税 監修：高野尚好 出版：学習研究社</p> <p>足尾のはげ山に緑をとりもどせ。 よみがえれ、霞ヶ浦のアサザ</p> | <p>ようこそ自然保護の舞台へ</p>  <p>定価：1800円+税 出版：(株)人書館 編集：WWFジャパン</p> <p>第3節 かつての豊かな自然を取り戻したい！ 霞ヶ浦アサザプロジェクト…市民による公共事業で湖に自然をとりもどす</p> |
| <p>理科総合B ～歴史としてみる自然～</p>  <p>高等学校理科用文部科学省検定済教科書 第7編 生物と環境 第2章 生物多様性の保全 C.生物多様性を保全する取り組み a. 市民による取り組みアサザプロジェクト</p> | <p>道徳6年 きみがいちばんひかるとき</p>  <p>出版：光村図書</p> <p>平成17年度使用開始の教科書。第20章でアサザプロジェクトが紹介されています。</p> | <p>生物II</p>  <p>出版：東京書籍</p> <p>高等学校理科用文部科学省検定済教科書 第4編 生物の集団 4. 生態系と人間 C.生物多様性の保全 参考アサザプロジェクト</p> |